

JR東労組盛岡

No, 45
2019年 2月22日
東日本旅客鉄道
労働組合
盛岡地方本部

〒020-0045
盛岡市盛岡駅西通二丁目16番31号
発行人 佐々木克之
編集人 情宣部
NTT 019-623-1011 FAX 019-624-0157
JR 033-2238・2239 FAX 033-2230

盛地申4号「2019年3月ダイヤ改正」に関する申し入れ交渉

702

3. 奥羽本線632Mの編成両数を変更(3両から2両)に伴う積み残し対策とお客さま周知方法について明らかにすること。

回答 編成両数については、ご利用状況等を勘案し、設定しているところである。
なお、列車混雑時は必要により駅や車内での放送案内を実施していく。

会社より632Mの編成両数変更理由として631Mの混雑解消について箇所やお客さまから多数の苦情を受けて今改正で変更を行う事に伴う変更であることが説明されました。地本としてノリホなどデータをもとに実施となるが、現実には机上のデータ通りいかない場合にどのように対応していくのか議論してきました。特にも、冬季において着膨れやダイヤが乱れる確率の高い奥羽線の特性などを訴え、減車により迷惑をかける場面が出てしまう事から混雑発生時には駅と協力しながら放送など理解を得られるように取り組んでいく体制をとっていくことを確認しました。また、実施後どのような対応が適切なのか秋田支社と協力し検証していくことを確認してきました。

4. 始発場面におけるワンマン機器故障が発生した場合の対応方について明らかにすること。

回答 ワンマン機器故障時は、運転士による応急処置及び司令等の指示により対応することとなる。
なお、故障内容によっては、運転士による対応でワンマン運転を行う場合もある。

組合

「故障内容によっては…」という文書の意味は
どういうことなのか。

今までの取り扱いと変わったのか。取り扱いを
拡大するつもりは無いということでしょうか。

会社

例えば自動放送の故障、ワンマン運賃箱のシャッターが閉まらないなど運転操縦に関わるもの以外については運転士のマニュアル操作にて運転を行う場合があるという事である。

基本的には変わらないが列車の特性上新幹線接続というシャトル列車という使命があるためお客さまの事を考えてこの取り扱いをしたいというのが会社の考えである。

列車の特性を理解しつつも乱用はしないことを確認!

地本として始発場面におけるワンマン機器故障については車両交換、ワンマン解除または運休とする今までの考え方と今回から施行される奥羽本線でのワンマン運転の取り扱いが変わったのか会社に迫ってきました。ワンマン機器故障についての労使での認識の一致を図ってきましたが**基本的な考え方は変わらない**こと、実施に向けて当該箇所と意見交換し想定されるリスクや不安の解消をしていくことを確認してきました。

ワンマンに慣れていないなかでの取り扱いであり検証しながら取り組んでいくことを確認!!

5. 青森駅における津軽線332Mから奥羽本線648Mへの同面接族(乗り換え時間2分)に関する遅延時の考え方について明らかにすること。

回答 津軽線332Mから奥羽本線648Mへの接続については、遅延状況により判断することとなる。

地本は今回初めての接続となることから接続の考え方について議論してきました。会社より「最終的には新幹線接続に影響を与えない範囲で接続をとる」考えが示されました。

問題点など情報交換しながら取り組んでいくことを確認!